

主催報告

令和6年度マスターズクラブ講演会（東海）報告 ようこそお帰りなさい、今栄先生

マスターズクラブ（東海） 多 賀 圭次郎

令和6年度のマスターズクラブ講演会（東海）を、1月22日の東海支部役員会終了後に、東海支部後援のもとで開催しました。講師は本会フェローで15年ぶりに台湾より帰国された国立台湾科技大学荣誉講座教授の今栄東洋子先生です。今栄先生もマスターズクラブ会員ですので、まずはマスターズクラブの主たる活動から紹介していきます。

本会マスターズクラブは、関東地区、関西地区及び東海地区から成り立っており、それぞれの地区で独自にいろいろな活動が行われていますが、マスターズクラブ全体としての活動にリレーエッセイがあります。エッセイの内容としては、趣味（絵画、写真、スポーツ等）、国際問題やコロナ禍に関する問題、さらには季節の花々など多種多様な内容が、マスターズクラブ会員にのみのメーリングリストから配信されています。

関東地区の会員のエッセイが約2週間ごとに配信され、それに対していろいろな方から意見や質問が返信されます。数か月ほどするとエッセイのバトンが関西地区に渡されます。同様に関西地区からエッセイが順次配信され、数か月後に関西地区が終了すると、東海地区にエッセイのバトンが渡されます。それを受けて、私から東海地区の会員の方々にエッセイのお願いの連絡をします。

昨年6月上旬にエッセイの準備をお願いしますとメールをお送りしたところ、今栄先生から、多賀さんからエッセイの依頼が来ると、また1年たったのかと感じるけれど、7月末をもって台湾での研究・教育活動を終了し、日本に引き揚げるので外国での研究・教育活動に関するエッセイテーマはこれで終了となりますとの連絡がありました。そして、ご帰国後の8月中旬に「コロナ後の世界、平和はどこに？」という題目でエッセイを書いていただきました。

9月中旬に東海支部常任幹事会が開かれ、八田明生東海支部長よりMC講演会（東海）を再開してほしいと依頼され、今栄先生にお願いしたところ、1月には日本にいたので大丈夫とのご快諾でした。いただいた演題は「－台湾－ 留学生と共に学んだ外国人教師」です。

さて、講演会では、大阪大学、名古屋大学、慶応大学、そして台湾科技大学と先生の研究経歴をお話しされ、その後演題内容が続くものと思っていましたら、台湾における研究内容が紹介されました。私が知っている今栄先生の研究は分子集合体についての構造や溶液物性の基礎研究でしたので、お話についていくのに少しとまどってしまいました。内容は(1) エネルギー科学のためのカーボン量子ドット、(2) 環境科学のための金属／金属酸化





物クラスター, (3) 二酸化炭素分解, (4) 水の浄化についての一連のセルロースの形状等々, 内容をフォローするのがかなり大変な状況でした。本来の演題の台湾科技大学の学生たちに関しては最後に少しお話されました。

講演後の懇親会で, 台湾科技大学の学生たちの話では1時間も持たないので, 台湾でやっていた研究について話をしましたとのことでした。また, 大学の方針だろうと思いますが, 基礎研究よりも実用研究ばかりやっていたとのことでした。まだまだ残っているデータで論文を

書かないといけないといわれていましたが, 古希を越えた私より10歳も年長とは思えないほどお元気な姿に驚かされるばかりでした。

今回のマスターズクラブ講演会(東海)では, マスターズクラブと聴講希望者にズームアドレスを公開しました。対面とズームで30名ほどの方にご参加いただいたそうです。今榮先生の今後ますますのご活躍をお祈りしてMC講演会(東海)の報告とさせていただきます。